

令和6年第12回教育委員会定例会 会議録

1 開催日時 令和6年12月18日（水）午後2時00分～午後2時45分

2 開催場所 春日井市役所9階 教育委員会室

3 出席者

【教育長】 児島 靖

【委員】 河合 香吏

【委員】 竹田 卓弘

【委員】 浅井 敦臣

【委員】 向 文緒

【事務局】 教育部長

いきがい創生部長

教育総務課長

同 課長補佐

同 担当主査

学校教育課長

同 主幹

同 課長補佐

学校給食課長

文化財課長

野外教育センター所長

同 主幹

いきがい推進課長

文化スポーツ振興課長

図書館長

森本 邦博

塚本 滋

中山 一徳

田之上 愛子

砂田 恭平

前原 敦

梶田 英男

山崎 俊介

加藤 純也

北野 将好

生倉 勉

坂野 年伸

大野 利重

田中 芳樹

四ツ倉 光一

4 議 題

(1) 教職員等の処分について

5 議事概要

教育長

本日の傍聴者は1名。

教育長	春日井市教育委員会会議規則第6条第2項の規定により、会議録署名人は、河合委員を指定。
教育長 (報告事項)	12月6日(金)に、「創意と活力のある学校づくり」支援事業の応募校によるプレゼンテーションを実施した。参加いただいた委員の皆さんには感謝する。今年は28校の応募があり、今後の選定委員会で予算の配分について決定する。 各学校では、先々週から先週にかけて2学期の個人懇談会を実施している。12月21日(金)には給食終了、23日(月)は終業式で冬休みに入る。 年明けは、1月7日(火)が始業式で、3学期が始まる。15日(水)から21日(火)には、「けやきの子作品展」を、文化フォーラム春日井・交流アトリウムで開催する。特別支援学級や特別支援学校の児童生徒の作品が展示される。ぜひ観覧ください。 12月1日(日)には、第28回春日井市民第九演奏会が開催された。市民から公募した市民第九合唱団とアマチュアで結成された春日井市交響楽団による市民手作りの演奏会である。今年は第九の他に、ホルスト作曲 組曲「惑星」から「木星(ジュピター)」を演奏した。会場は満席だった。 7日(土)には、県下市町村対抗駅伝大会が、愛・地球博記念公園で開催された。春日井市は市の部38チーム中、2年連続の10位で、昨年と同様今までの最高の順位だった。 年明けには、1月12日(日)に新春春日井マラソン、13日(月)に二十歳の成人式を予定している。 漢字一文字で今年の世相を表す「今年の漢字」は、「金」と発表された。パリオリンピックやパラリンピックに出場したアスリートが、数多くの金メダルを獲得したこと、大谷翔平選手が3回目のMVPを獲得するなど「値千『金』」の活躍だったこと、「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録されたことなどとともに、お金を巡った事件などが多かったことから選ばれたそうだ。 今年もあと2週間あまりとなった。来年は「へび年」「巳年」、詳しい干支は「乙巳(きのと み)」だそうで、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いをもつ年になると言われている。春日井の教育にとって良い年にしていきたいと思っている。皆さんも良い年を迎えてほしい。

教育長	「議題(1) 教職員等の処分について」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項ただし書きを適用して非公開とすること及び審議の順序を入れ替えることを提案。
教育長	議題(1)について、採決の結果、全員一致で「非公開」及び審議の順序を参考資料説明後にすることを決定。
教育長	参考資料の説明に移る前に、前回の会議で「議題 2」として取り上げた「令和 6 年度全国学力・学習状況調査における春日井市全体の結果について」の資料説明に誤りがありましたので、訂正と説明を事務局から行う。
学校教育課主幹	前回の定例教育委員会の議題である「全国学力・学習状況調査における春日井市全体の結果について」の質問に対する回答について、訂正させていただく。 竹田委員から、「休日に学校の授業以外で、塾や図書館での勉強時間も含めて、1 時間以上勉強している生徒が 6 割もいないということか」と質問をいただき、6 割もいないと回答したが、小学校では 6 割を超えていなかったが、中学校では 6 割を超えていた。正確には、県や国と比べて 1 時間以上勉強していない児童生徒の割合が高い傾向にあるということだった。 浅井委員から、「学習生活習慣等と教科の調査結果との関連で、高いと評価する基準はあるのか」と質問いただき、正答率とのクロス集計で概ね 8 割や 9 割のもの、県や全国と比べて優位性が高いと思われるものを挙げていると回答したが、正しくはクロス集計により、選択肢ごとの正答率が出るため、明らかに他の選択肢と比べて優位性があると判断したものを抽出している。例えば、毎日朝食を食べていないと答えた児童生徒の正答率が 30%であり、毎日食べていると答えた児童生徒の正答率が 70%であるような、明らかに優位性のあるものを挙げている。 向委員から、全国学力・学習状況調査の W e b 回答について質問をいただいたが、W e b 回答のことを C B T（コンピュータ・ベースド・テスト）とも言い、文部科学省では令和 2 年度より C B T の検討を始めている。また、令和 3 年度から令和 5 年度の 3 年間に実証校に応募した学校の中から、小学校中学校合わせて毎年約

120校、約1万人の児童生徒を対象に、9月から11月にかけて、過去の問題の中から選択式、短答式の問題を抽出してC B Tを行っている。実際に全校実施の全国学力・学習状況調査でC B Tが導入されたのは、昨年の中学校英語で「話すこと」の領域のみであり、日にちが重ならないように4月から5月に分散して、ヘッドセットを使って行った。今年の全国学力・学習状況調査の質問紙調査は、児童生徒がオンライン回答をしている。今後は、令和7年度に中学校理科、令和8年度に中学校英語で行うことが予定されている。また、小学校においては、令和9年度から行うことが予定されている。

過去の実証調査の結果から、C B Tにすることでビッグデータとして蓄積できることや、問題や解答の配信及び回収の負担が軽減できること、ルビ付きの問題など特別な配慮が必要な児童生徒に対応できることなどの利点があることがわかった。逆に問題点としては、ネットワークや端末の問題でフリーズしてしまうなどトラブルが発生した場合に教員が対応できないこと、動画再生、録音などで動作が重くなること、問題文に線を引いたり書き込んだりすることができないこと、小数点やマイナス、単位の入力方法がわからないこと、回答中に漢字の変換機能やウェブ検索、電卓などの機能が使えてしまうこと、前に座っている児童生徒の画面を見ることができてしまうことなどが挙げられていた。

向委員

令和3年度から約1万人に過去の問題から抽出して実施ということを試行的に行っているということだが、全国学力・学習状況調査はまだ旧来通り行っているということか。

学校教育課主幹

そのとおりである。4月に全国学力・学習状況調査を行っているが、まだC B Tの導入は教科的にはされていない。ただ、全国的に昨年度の英語では話すこと、聞くことで、ヘッドセットを使って行った。

向委員

ヒアリングの問題の回答は選択式なのか。

学校教育課主幹

ヒアリングは選択式である。話すことについては、例えば今年あった質問だと、外国の友達と動物園に行って、友達との会話の中でその会話が続けるように質問に答えたり、あなたの考えを述べなさい

	というものや、外国の友達のプレゼンテーションに対して、あなたが思っていることを英語で答えなさいというものだった。
向委員	今後C B Tが導入される方向ということか。
学校教育課主幹	理科と英語は3年に1回の調査であり、まずは来年度の中学校理科、再来年度の中学校英語で導入される。国語と数学は毎年度行っているため、それ以降に導入する計画である。 ○参考資料について
浅井委員	2ページの教育委員会後援等で、6つ目の新規事業「まずはやってみよう！STEAM教育」について、非常に良い取組だと思うが、STEAM教育はあまり浸透していないと思うので、事業内容をわかりやすく具体的に発信した方が良いと思う。
竹田委員	青年会議所が行っている事業であるため、教育委員会ではなく、青年会議所が広報を行っているのでは。
教育長	青年会議所は子ども達のためにいろいろな事業をしており、校長会で説明したり、各学校を回ってチラシを配ったりしている。
学校教育課長	本事業の内容は、参加者がアイスブレイクするためのワークショップを30分、その後60分間が新聞紙に自由に触れる時間となっている。大量の新聞を用意し、身近にあるものが楽しいものであることを認識してもらい、想像力を高め、教えるのではなく、子どもたちが自ら考える習慣を付けるきっかけ作りになることを目的に開催するものである。
向委員	17ページの野外教育センターの野外活動・自然体験指導者講座について、応募者なしで中止となっているが、この講座を修了した者は、どのような活動をしているのか。
野外教育センター所長	各地域での自主的な活動を期待しているが、例えば小学校5年生が野外学習で山登りをする際に、安全のため付き添ってもらいガイ

	ドしてもらうなどの協力を呼びかけ、自主的に参加してもらうことがある。
向委員	野外学習のサポートという重要な仕事だと思う。少子化で18歳以上が減少していくと思われるので、人手不足が心配である。
河合委員	11ページのスクールサイン投稿件数で、自身の不安は少ないが、友人の不安は多く挙がっている。友人の不安とは、具体的にどういう内容か。
学校教育課長	例えば、ある児童生徒が他の児童生徒に叩かれたとかを見て心配というものがある。
河合委員	友人との関係の不安ではなく、第三者の立場から見て不安ということか。
学校教育課長	そのとおりである。ある児童生徒は叩かれても笑っていたが、いじめられているのではないかという友人の不安が投稿されている。
河合委員	いじめの相談件数は多くないけれど、そういう投稿がされているということか。
教育長	いじめの相談件数は不登校相談室に電話があった件数であり、学校にはたくさん相談がある。
河合委員	自身の不安はどういう内容か。
学校教育課長	例えば、これまで3人で遊んでいたが、自分以外の2人でよく遊ぶようになり、自分だけが取り残してしまったというような内容である。
	1 議題 (1) 教職員等の処分について 採決のとおり非公開とする。

上記のとおり、議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、教育長及び指定された会議録署名人が署名する。

令和7年1月21日

教育長 児島 靖

署名人 河合 香吏